

## 21 港湾春闘情報(1)

21 港湾春闘は2月17日(水)に第1回中央港湾団交を開催し要求書を提出した。組合側は、主旨説明を文書化し、時間短縮と正確に伝える目的で手交した。趣旨説明で、認可料金復活への共同取り組みと、コロナへの対応、また、コロナを理由に賃上げの抑制や人員削減を行わないこと、継続課題の解決促進などを強調した。そして、指定事業体の問題解決を今春闘で図ること、関連職種の5.9協定実施、横須賀新港での問題、賃上げに誠意ある回答をしなければ、21春闘は解決しないことを特に強調した。また、ワクチン優先接種についての申し入れを同時に行った。

業側は、次の団交について文書回答または、リモートとしてほしいとの提案があったが、組合側は、文書回答を拒否した。開催方法と場所は事務局間で調整することとし、次回3月9日13:30にすることを労使で確認して団交を終了した。

### 1. 各単組の取り組み状況について(3月4日現在)

- (1) 全港湾 3月1日までに要求書の提出し、スト権集約も3月1日までとする。回答指定日3月15日を第1回回答指定日とした。要求は、基本給一律20,000円、65歳までの定年延長、労災補償の引き上げ、初任給の引き上げ、伝染病等の休業補償を求めた。
- (2) 日港労連 2月17日(水)13:00から東京芝浦会館において第1回港荷労使交渉を行った。港荷経協は「賃上げには応じない」とゼロ回答示した。中央闘争委員会は、21春闘賃上げに関する各個別労使対角線交渉を指示した。なお、賃上げ要求は基準内月額賃金20,000円及び6%引き上げ(基準内として)を要求している。
- (3) 検数労連 2月18日に第1回交渉を行い、要求書の提出を行い、回答指定日を3月25日とした。スト権集約は終了した。なお、要求は、本給一律20,000円とした。
- (4) 検定労連 要求書提出は、3月2日とし、スト権集約は2月末日。なお、賃上げは6%要求とした。海事検定職組一人平均18,475円(6%)を要求、シンケン労組組合員一人平均17,456円(6%)を要求。
- (5) 全倉運 5%+ $\alpha$ を統一要求基準とし、統一要求書提出日は3月10日(水)、統一回答指定日を3月24日(水)とする。
- (6) 大港労組 基準内賃金月額20,000円を要求。2月25日(木)に第1回団交を開催し、要求書主旨説明を行った。次回は3月15日(月)を予定している。
- (7) 全日通 要求書提出は2月15日(月)で、賃金10,800円の増額、一時金年間(夏季・年末合わせて)5か月、回答指定日は3月5日(金)、山場は3月18日(木)を予定している。

以上